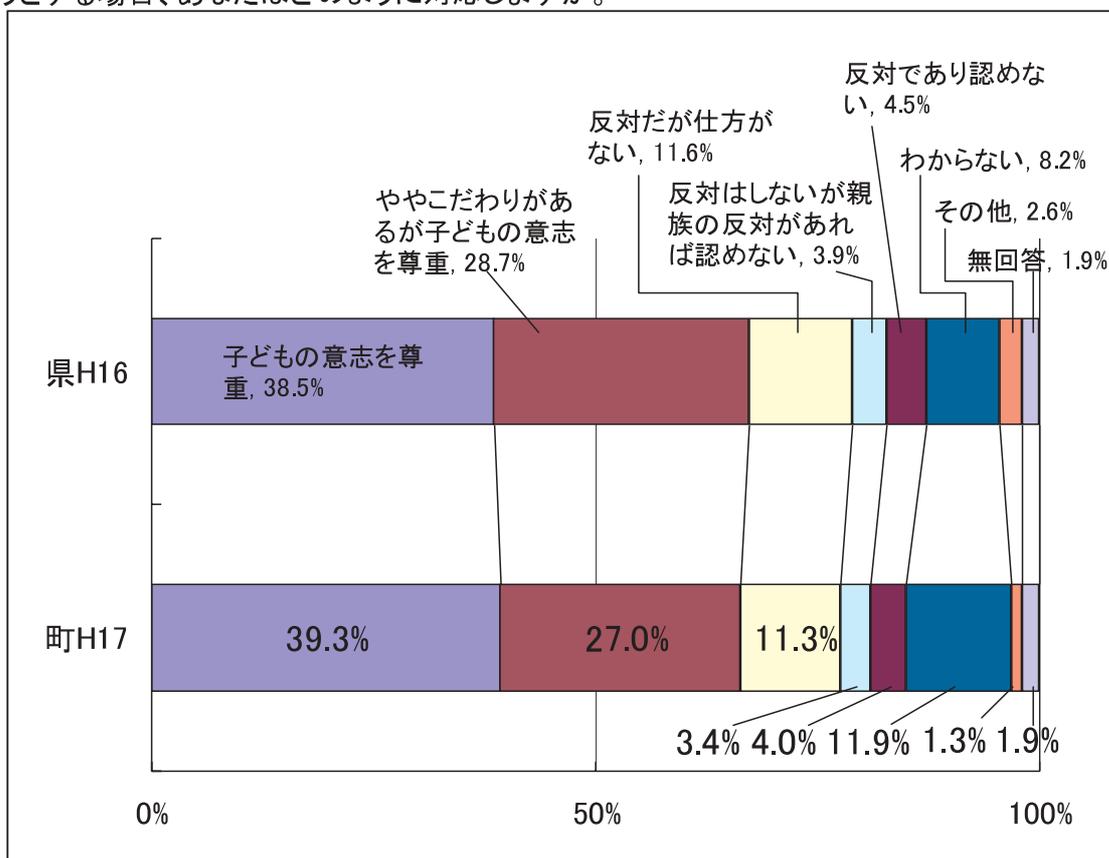
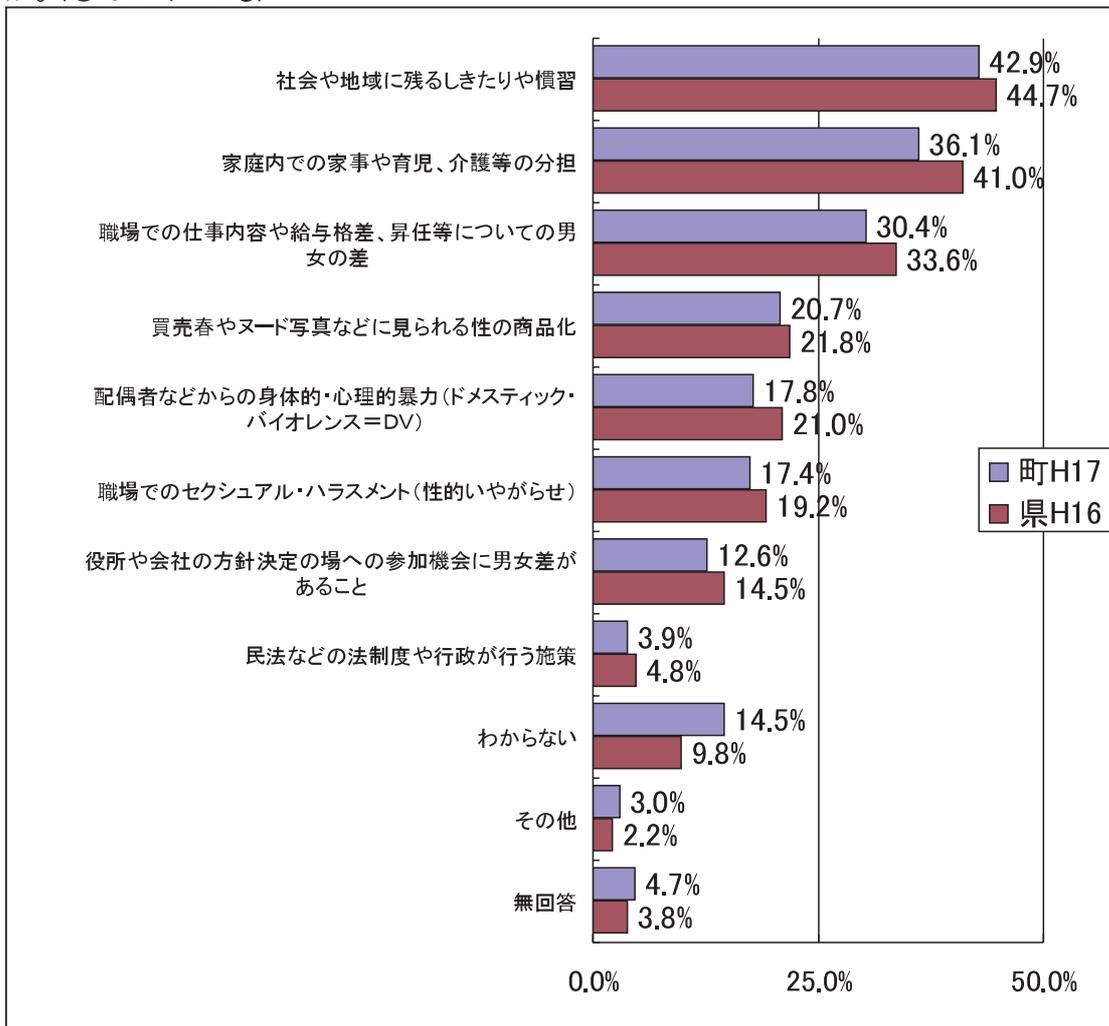


問12 あなたに未婚のお子さんがいると仮定して、そのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとする場合、あなたはどのように対応しますか。



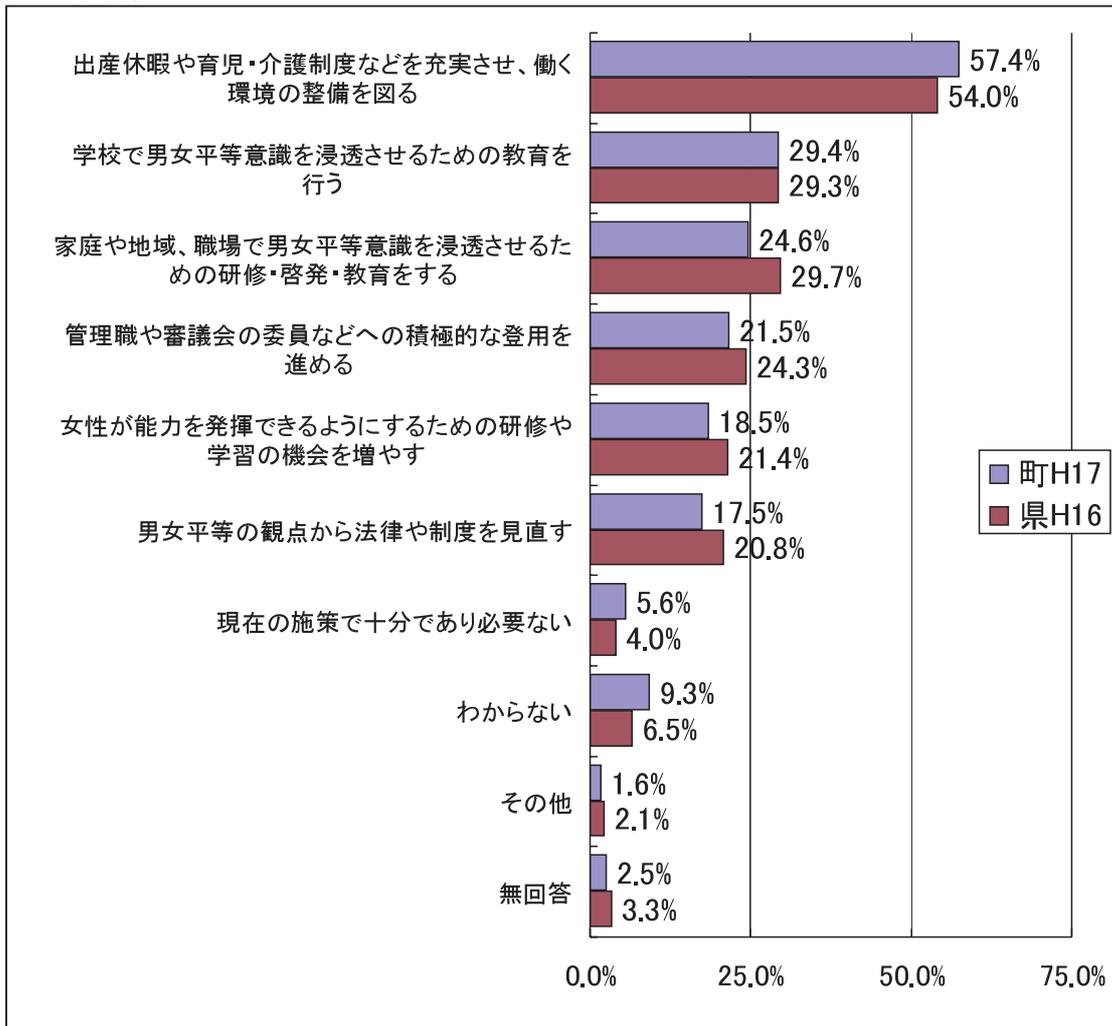
同和地区出身者との結婚について、肯定的な意見(※1)が66.3%を占める(県67.2%)。一方、否定的な意見(※2)は18.7%(県20.0%)。
 (※1「同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意志を尊重する」及び「自分としてはややこだわりがあるが、子どもの意志を尊重する」。
 (※2「自分としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方ない」、「自分としては反対しないが、家族や親戚の反対があれば、結婚は認めない」及び「自分は反対であり、絶対に結婚は認めない」。)

問13 次のうち特に女性が差別されたり、人権侵害を受けていると感じるのはどのような場面ですか。(〇はいくつでも)



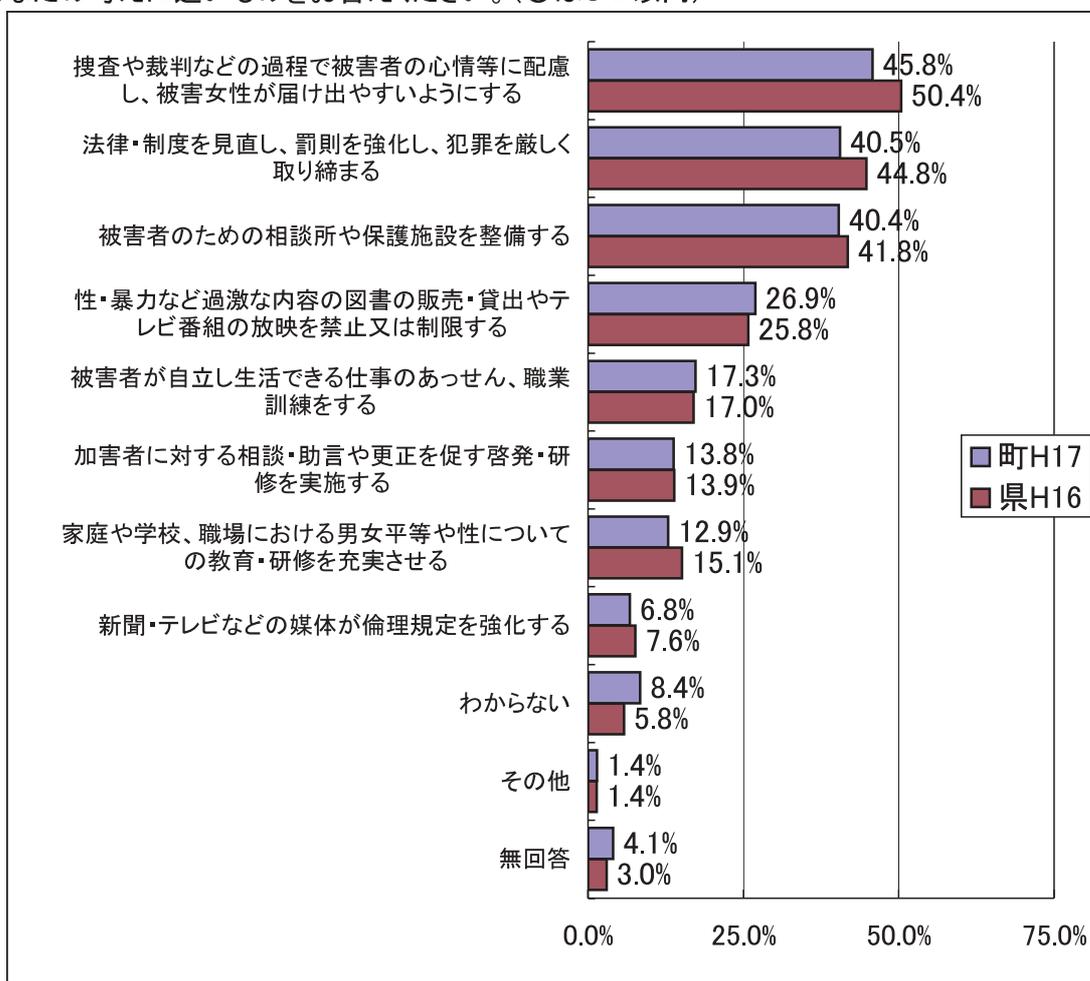
女性が差別や人権侵害を受けていると感じるのは「社会や地域に残るしきたりや慣習」が最多(42.9%)で、次いで「家庭内での家事や育児、介護等の分担」(36.1%)。性の商品化やドメスティック・バイオレンスなどについても人権侵害として一定程度認識されている。

問14 女性の人権が尊重されたり女性の社会進出を推進するために行政の施策としてどのようなことが重要だと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。
(〇は3つ以内)



女性の人権が尊重され、社会進出が推進されるためには「出産休暇や育児・介護制度などを充実させ、働く環境の整備を図る」ことが重要であるという回答が唯一半数を超えている(57.4%)。また、学校教育や社会教育・啓発の充実の必要性も認識されている。

問15 ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等の行為が社会問題となっていますが、これらの問題をなくするためにはどのようにすればいいと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。(〇は3つ以内)



ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントをなくするために必要なことは「捜査や裁判などの過程で被害者の心情等に配慮し、被害女性が届け出やすいようにする」(45.8%)、「法律・制度を見直し、罰則を強化し、犯罪を取り締まる」(40.5%)、「被害者のための相談所や保護施設を整備する」(40.4%)の3つの取り組みが特に求められている。